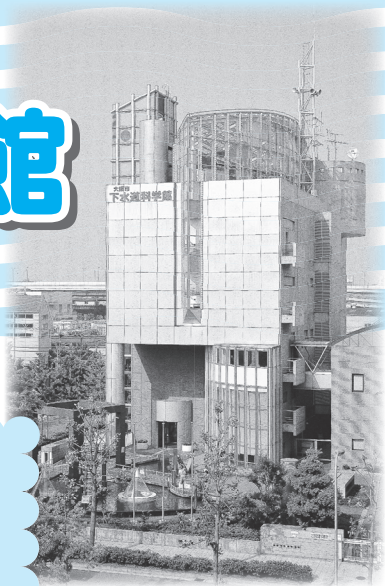


# 大阪市 下水道科学館



豪雨体験

さまざまな展示を楽しみながら、下水道のしくみと働きや大阪市の下水道の特徴を学んでいただける参加体験型の施設です。



地下探検号

## 下水道科学館フェスタ

下水道クイズラリーや、水の科学実験、100mmの大雨を体感できる豪雨体験など下水道について楽しく学んでいただけるイベントです。

### イベント内容

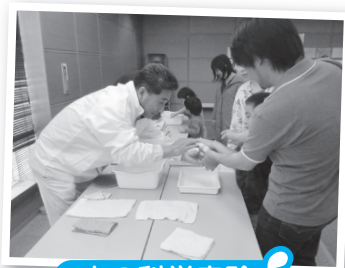
- ①微生物の観察と水の科学実験
- ②下水道クイズラリー
- ③豪雨体験(4日のみ)

日時 6/3(土)、4(日)  
9:30~16:30

費用 無料



微生物の観察



水の科学実験

## 大阪市下水道科学館

大阪市此花区高見1丁目2番53号

- 阪神電車「淀川」駅より徒歩約7分
- JR西九条駅から市バス82号「高見1丁目」下車すぐ  
(バスの運行台数が少ないため、時刻表を確認してください。)
- 無料駐車場あり

開館時間 午前9時30分~午後5時 ※ただし入館は午後4時30分までとなります

休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)・年末年始(12/28~1/4)

入場料 無料

お問い合わせ 電話:06-6466-3170 FAX:06-6466-3165

## おおさか歴史探訪 112

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### 馬車鉄道跡

— 明治時代から続く鉄路の歴史 —

大阪のチンチン電車として親しまれる阪堺電車。平成28(2016)年12月3日には上町線天王寺駅前~阿倍野間の軌道敷が関西初の芝生軌道となり話題になりました。この阪堺電車上町線の歴史は古く、今から120年前の明治30(1897)年にさかのぼります。この時の社名は大阪馬車鉄道株式会社といい、文字通り軌道の上の客車を馬に牽かせた鉄道で、同33(1900)年に天王寺西門前~東天下茶屋間が開通しました。現在からすると少しのんびりとした交通手段のように思えますが、1850年代から70年代にかけて、パリ・ロンドン・ベルリンなどで、電化以前の都市交通として利用されており、東京でも明治15(1882)年に開業しています。



阪堺電車「東天下茶屋駅」にある顕彰碑

大阪でもたちまち人気を呼び、明治35(1902)年には下住吉まで延長され、天下茶屋遊園地や住吉大社への旅客誘引に一役かいました。初代社長は土居通夫。土居は五代友厚亡き後、大阪の商工業界を牽引したひとりで、当時は大阪商業会議所会頭でもありました。車両7両、馬16頭で営業を開始しましたが、明治37(1904)年になって日露戦争の影響から、馬の飼料費の高騰、軍馬への徴用から電気鉄道に動力の変更が検討され、明治40(1907)年3月には社名を大阪電車鉄道に変更、翌年1月には馬車営業は廃止されました。

関西には歴史ある私鉄が多くあります。薫風の候、そうした歴史に思いを馳せながら小旅行などいかがでしょうか。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)